

2018 年(平成 30 年)度

東京外国語大学
大学院総合国際学研究科博士前期課程

学 生 募 集 要 項

《冬季募集・一般選抜》
《冬季募集・社会人特別入試》

世界言語社会専攻

言語文化コース (2018 年 4 月入学)

国際社会コース (2018 年 4 月入学)

Peace and Conflict Studies コース
(2018 年 10 月入学)

国 際 日 本 専 攻

国際日本コース (2018 年 4 月入学)

東京外国語大学

目 次

■ 大学院総合国際学研究科博士前期課程案内	1
■ 大学院総合国際学研究科博士前期課程【冬季募集】募集人員	2

冬季募集・一般選抜(Peace and Conflict Studies コースを除く)

1. 出願資格	3
2. 出願手続	4
3. 学士の学位を授与された者または授与される見込みの者が志願する場合の必要書類について	6
4. 外国人受験者(外国人留学生)について	6
5. 社会人の授業及び研究指導について	6
6. 障害等のある入学志願者等の事前相談	7
7. 個人情報の利用について	7
8. 入学者選抜方法	7
9. 入学手続き等	8
10. 注意事項	9

冬季募集(Peace and Conflict Studies コース)

1. 募集人員	10
2. 出願資格	10
3. 入学時期	10
4. 出願手続	10
5. 選考方法及び選考結果	10
6. 入学手続き等	10

冬季募集・社会人特別入試

1. 出願資格	11
2. 出願手続	12
3. 学士の学位を授与された者が志願する場合の必要書類について	14
4. 外国人受験者(外国人留学生)について	14
5. 社会人の授業及び研究指導について	14
6. 障害等のある入学志願者等の事前相談	15
7. 個人情報の利用について	15
8. 入学者選抜方法	15
9. 入学手続き等	16
10. 注意事項	16

■ 本学大学院学生の教職科目の履修について	17
■ コンビニエンスストアでの入学検定料支払い方法	18

- 添付書類 (1) 入学志願票
 (2) 受験票・写真票
 (3) あて名票
 (4) 検定料振込用紙
 (5) 入学資格認定申請書(1.出願資格(9)該当者のみ)
 (6) 入学試験出願資格認定審査調書(1.出願資格(9)該当者のみ)
 (7) 日本語教育調査票(国際日本専攻国際日本コースの社会人特別入試志願者のみ任意提出)
 (8) チェックシート

■ 大学院総合国際学研究科博士前期課程案内

東京外国語大学大学院総合国際学研究科は、世界諸地域の言語・文化・社会をめぐる個別かつ総合的な研究を主体とする我が国でも有数の教育機関であり、これらの分野における国際的拠点としての使命を担っています。従来から我が国と交流関係の深かったアジア地域、ヨーロッパ地域、アメリカ地域の言語・文化・社会に関する研究と教育で本学は長年の伝統を誇っています。戦後、日本の経済活動、文化活動、国際活動が拡大するのに伴い、全地球レベルでの相互交流も活発になりました。それに応じて、本学での研究と教育も地域を拡大し、東南アジア、中東、東欧諸地域の言語・文化・社会の研究と教育をリードしてきました。また、日本が国際的活動を拡大するにつれて日本地域の研究に対する需要が高まり、本学はいち早く日本研究および日本語教育の国際的拠点となっています。

このような日本を含む世界の言語・文化・社会を教育・研究する本学大学院での教育は、平成 28 年度より、世界の言語・文化・社会を教育・研究する**世界言語社会専攻**と、比較の視点で日本を教育・研究する**国際日本専攻**の 2 専攻で行われることになりました。世界言語社会専攻は、(1)言語文化コース、(2)国際社会コース、(3)Peace and Conflict Studies コースの 3 つから、国際日本専攻は、(1)国際日本コース、(2)日本語教育リカレントコースの 2 つのコースからなります。

研究科全体としては、それぞれの固有の専門分野に加え、

- ① 学問分野の枠にとらわれない知識・思考を獲得し、現代の多面的な課題に対応できるような総合力
- ② 多様な進路選択に対応して、多言語能力を活かし、職業に直結するスキルを磨く実践力の強化
- ③ 「世界の中の日本」を客観的な視座をもって理解し、世界に向け日本を発信する日本力の強化を目指しています。

1. 専攻・コース紹介

それぞれの専攻・コースは、次のような人材の養成を目指し、必要な専門科目を開講します。

世界言語社会専攻

本専攻では、世界諸地域の言語・文化・社会や国際社会を、複合的・総合的に捉える視点から研究し、地球社会化時代にふさわしい多言語グローバル人材を養成します。

(1)言語文化コース

世界の諸地域の言語・文化に関する専門的教育研究を推進し、高度な言語知識と地域に関する総合的な視点を備えた人材を養成します。

開講される専門科目群：英語・英語教育学研究、ヨーロッパ・アメリカ言語研究、アジア・アフリカ言語研究、言語学研究、音声学研究、言語情報学研究、認知科学研究、通訳翻訳実践研究、ヨーロッパ・アメリカ文学文化研究、アジア・アフリカ文学文化研究、古典文学文化研究、人間文化研究 等

(2)国際社会コース

世界諸地域の社会、ならびに国際社会に関する専門的教育研究を推進し、コーディネート力、コンフリクトへの耐性を備えた人材を養成します。学べる分野は、次のとおりです。

開講される専門科目群：ヨーロッパ・アメリカ地域研究、アジア・アフリカ・オセアニア地域研究、現代世界論研究、国際関係研究 等

(3)Peace and Conflict Studies コース(10 月入学)

紛争を抱えた地域の諸大学とのネットワークを活用した平和構築・紛争予防教育研究を推進し、国際社会で活躍し、平和構築に寄与する国際的リーダーを養成します。教育は全て英語で行われます。

開講される専門科目群：PCS Research Methodology、Foundation for Peacebuilding、Applied Peacebuilding、Conflict and Social Change、International Relations and Cooperation etc.

《アジア・アフリカ・フィールドサイエンス・プログラム》

上記の 3 つのコースを超えたアドオンプログラムとして、アジア・アフリカ・フィールドサイエンス・プログラムが開設されます。フィールドサイエンスとは、臨地調査(フィールドワーク)を理論的・実践的に高度化した研究手法です。この手法を用い、アジア・アフリカの諸地域に分け入る研究を指導します。

国際日本専攻

国際日本専攻では、世界の諸言語の中での日本語・日本語教育、世界の中の日本文化と日本社会を比較の視座をもって研究し、日本についての客観的な視座をもつ人材を養成します。

(1)国際日本コース

本コースでは、世界の諸言語の中での日本語・日本語教育、世界の中の日本文化と日本社会を比較の視座をもって研究し、日本についての客観的な視座をもつ人材を養成します。本コースには、4つの柱があります。

- ・日本語学分野：専門科目「日本語学研究」、「対照日本語研究」を通じ、現代日本語、日本語史、方言、対照日本語研究などを学びます。
- ・日本語教育学分野：専門科目「日本語教育学研究」、「日本語教育実践研究」により、日本語教育の理論と実践を学びます。
- ・日本語文学・文化研究分野：専門科目「日本語文学・文化研究」、「日本比較文学・文化研究」を通じ、古典文学、現代文学、文化研究などを学びます。
- ・日本社会研究分野：専門科目「日本社会研究」、「国際文化交流研究」を通じ、日本の伝統社会、現代社会、日本の歴史などを学びます。

(2)日本語教育リカレントコース(10月入学)

海外で働く現職の日本語教育者を対象とした、1年で修了できるコースで、入学時期は10月です。

2. 専攻・コースを超えたキャリア・プログラム

大学院は専門的な研究の場であると同時に、修了後の皆さんを社会へとつないでいく場でもあります。専門分野での学術的な研鑽を活かすため、次のステップを意識した準備をすすめましょう。そのため、博士前期課程には、修了後のキャリア形成につながる複数のプログラムが用意されています。いずれの専攻・コースに属していても履修することができます。

- ・日本語教育実践プログラム
- ・多文化コーディネーター養成プログラム
- ・CEFRに準拠した新しい外国語教育プログラム
- ・世界史教育プログラム
- ・国際行政入門プログラム

■ 大学院総合国際学研究科博士前期課程【冬季募集】募集人員

専攻	入学定員	募集単位コース	冬季募集 (一般選抜)	冬季募集 (社会人特別入試)
世界言語 社会専攻	102人	言語文化コース	若干名	若干名
		国際社会コース	若干名	若干名
		Peace and Conflict Studies コース	12名	---
国際日本 専攻	46人	国際日本コース	若干名	若干名
		日本語教育リカレント コース	---	---

注)冬季募集の募集人員は、すでに募集した「秋季募集」「特別選抜」を含めた入学定員の内数である。

冬 季 募 集 ・ 一 般 選 抜

(Peace and Conflict Studies コースを除く*)

*PCS コースについては 10 ページを参照

1. 出願資格【冬季募集・一般選抜】

次のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び 2018 年(平成 30 年)3 月までに卒業見込みの者(注 1)
- (2) 学校教育法第 104 条の 4 の規定により学士の学位を授与された者及び 2018 年(平成 30 年)3 月 31 日までに学士の学位を授与される見込みの者(注 2)
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2018 年(平成 30 年)3 月 31 日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2018 年(平成 30 年)3 月 31 日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び 2018 年(平成 30 年)3 月 31 日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(注 3)において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること(注 4)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び 2018 年(平成 30 年)3 月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者(注 5)
- (9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2018 年(平成 30 年)3 月 31 日までに 22 歳に達するもの(注 6)

(注 1) 出願資格の(1)に定める「大学」とは、学校教育法に基づく日本の大学のことである。外国の大学の出身者については、出願資格の(3)若しくは(6)に基づき、出願資格を判断することになる。

(注 2) 短期大学又は高等専門学校の特攻科の修了者等で、大学改革支援・学位授与機構(旧大学評価・学位授与機構を含む)から学士の学位を授与された者、又は、学士の学位を同機構に申請中の者。

(注 3) その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。

(注 4) 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。

(注 5) 出願資格の(8)において「文部科学大臣の指定した者」に該当する者は、次に掲げる者等である。

(ア) 旧大学令等による大学等を卒業(修了)した者及び各省庁組織令・設置法による大学校等を卒業した者及び 2018 年(平成 30 年)3 月 31 日までに卒業見込みの者

(イ) 教育職員免許法による小学校、中学校、高等学校若しくは幼稚園の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は 1 種免許状を有する者で、2018 年(平成 30 年)3 月 31 日までに 22 歳に達したもの

(ウ) 旧国立養護教諭養成所を卒業した者で、教育職員免許法による中学校教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は 1 種免許状を有するもの

(エ) 旧国立工業教員養成所を卒業した者で、教育職員免許法による高等学校教諭免許状及び 3 年以上教員として良好な成績で勤務した旨の実務証明責任者の証明を有するもの

(注 6) 出願資格の(9)において、個別の入学資格審査の対象となる者は、上記(1)～(8)に該当し

ない者のうち主として「短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者など大学卒業資格を有していない者」である。これにより出願する場合は、事前に入学資格審査が必要となる。これにより出願する場合は、事前に入学資格審査が必要となるので、2017年(平成29年)12月1日(金)までに次の書類を入試課窓口まで持参するか、書留郵便で郵送すること。

(ア) 入学資格認定申請書(本学所定の用紙)

(イ) 入学試験出願資格認定審査調書(本学所定の用紙)

(ウ) 最終学歴の卒業証明書及び成績証明書(学校長(学部長)名で発行され、厳封されたもの)

(エ) その他、本学大学院において必要と認める書類

入学資格審査結果については2017年(平成29年)12月15日(金)までに本人宛に郵送により通知する。

2. 出願手続

志願者は、出願書類等をすべて取りまとめのうえ、出願期間内に(2)の提出先に提出すること。出願書類等を受理された者に対して受験票を交付する。**※後日提出は、一切認めない(出願不受理となる)。**
海外在住者は、日本在住の代理人が必要となる(本学からの連絡は、日本在住の代理人に行う)。
なお、受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返却しない。

冬季募集・一般	
(1) 出願期間	2018年(平成30年)1月4日(木)～1月9日(火)
窓口で出願する場合	土日祝日を除く、各日とも 10時～12時及び13時～16時
郵送による出願の場合	必ず書留郵便(封筒表面に「大学院博士前期課程(□□専攻△△コース)願書在中」と朱書きすること)とし、出願期間最終日までに必着のこと。ただし、出願期間後に本学に到着した場合でも、2018年(平成30年)1月4日(木)以前の日本国内発信局消印のある書留郵便に限り受け付けるものとする。
(2) 提出先	〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1 東京外国語大学入試課入学試験係
(3) 出願書類等	
入学志願票	本学所定の用紙に必要事項を記入し、写真(縦4cm×横3cm・上半身・正面・無帽・出願日前3ヶ月以内に撮影したもの)を貼付すること。 志願者は、志望する専攻・コースを一つ選択して出願すること。複数の専攻・コースを併願することはできない。 ※既に記入し終えたものを提出すること。窓口での記入は認めない。 ※海外在住者は、「連絡先」の欄に日本在住の代理人の連絡先・氏名を記入すること。
受験票・写真票	本学所定の用紙に必要事項を記入し、写真(志願票と同じもの)を貼付すること。
成績証明書	出身大学より大学長(学部長)名で発行された原本で、出身大学において厳封されたものを提出すること。なお、大学(学部)1年次から出願時に取得できる最新の成績までが把握できるものを提出すること。ただし、「証明書が一通しか発行されない」等の理由で オリジナル(原本)を提出できない場合は、*大使館等公的機関で原本証明されたものを提出すること。 英語・中国語以外の言語で作成された証明書は、自国の公的機関で証明した日本語訳又は英語訳を添付すること。 ※訳文の証明は、本学では行っていない。 また、本学入試課においても原本証明を行うことができる。本学に原本証明を依頼する前に必ず、出身大学へ証明書の発行が可能か問い合わせること。追加の発行ができない場合にのみ、本学入試課での原本証明を受け付ける。 【入試課において原本証明を行う場合について】 <u>事前に入試課に連絡の上、オリジナル(原本。コピー及び、学校印等がプリントされたもので、本学において原本であることの判断がつかないものは不可)</u> を本学入試課へ持参もしくは郵送し、厳封を受けた書類を出願時に提出すること。なお、郵送で手続きを行う場合は、書類が入る大きさの返信用封筒を用意し、その書類の重さに応じた簡易書留相当分の切手を貼り、必ずあて先(日本国内に限

	る)を記入し同封すること。 受付期間：2017年11月20日(月)～2018年1月9日(火) 16時まで ※本学冬季休業期間(2017年12月29日(金)～2018年1月3日(水))を除く 受付時間：月～金曜日(祝日を除く)10時～12時及び13時～16時
卒業(見込)証明書	出身大学より大学長(学部長)名で発行された原本(コピーやオンラインでの証明書を印刷したものなどは不可)を提出すること。なお、当書類は志願票「出願資格」の確認に使用するので、当項目と合致する大学(学部)のものを提出すること。ただし、「証明書が一通しか発行されない」等の理由でオリジナル(原本)を提出できない場合は、*大使館等公的機関で原本証明されたものを提出すること。また、<u>既卒の志願者において、取得した学位の記載が無い場合は、学位取得に関する証明書も併せて提出すること。</u> 英語・中国語以外の言語で作成された証明書は、自国の公的機関で証明した日本語訳又は英語訳を添付すること。<u>※訳文の証明は、本学では行っていない。</u> また、本学入試課においても原本証明を行うことができる。<u>本学に原本証明を依頼する前に必ず、出身大学へ証明書の発行が可能か問い合わせること。追加の発行ができない場合にのみ、本学入試課での原本証明を受け付ける。</u> 【入試課において原本証明を行う場合について】 上記「成績証明書」における取扱いと同様とする。 中国の大学を卒業した者は、上記の卒業証明書のほかに「教育部学歴認証中心」が発行する、英文の「学歴認定報告書 Verification Report of China Higher Education Qualification Certificate」(Web画面(PDF)の印刷ではなく、機関が発行・郵送する原本。コピー不可)も併せて提出すること(入試課での原本証明は行っていない)。 「学歴認定報告書」の申請・問合せ先は次のとおり。 教育部学歴認証中心(中国) http://www.chsi.com.cn/ 学歴認定中心日本代理機構(日本) http://www.chsi.jp/
研究計画書	提出部数：4部(コピー可) 体裁：志望専攻・コース名・研究テーマ及び氏名を記入した表紙を付けること。 作成する文字数は次のとおり。 【世界言語社会専攻志願者】 A4判用紙を使用し、日本語で2,000字程度にまとめること。 【国際日本専攻志願者】 A4判用紙を使用し、日本語で4,000字程度にまとめること。 内容：研究テーマを簡潔に明示した上で、研究の対象、方法、準備・進捗状況、博士前期課程での研究展開の見通しなどについて、具体的に述べる。その際、先行研究・基本文献についても言及すること。なお、<u>文中に英語以外の言語で書かれた文言を引用する場合は、和訳を付すこと。</u>
論文	提出部数：4部(コピー可) - 卒業論文、又はそれに準ずる参考論文*。ただし、卒業論文と本学大学院での研究テーマが関連しない志願者は、新たに参考論文を執筆して提出すること。 - 志望専攻・コース名・論文タイトル及び氏名を記入した表紙を付けること。 - 日本語及び英語以外の外国語で論文を執筆した者は、A4判用紙を用いて日本語に翻訳したものを添付すること。 - 提出後の差し替えは認めないので、よく確認の上、提出すること。 *「それに準ずる参考論文」について 日本語で執筆する場合は、A4判用紙に12,000字(400字詰め原稿用紙30枚)程度(若干の増を認める)で作成すること。また、外国語で執筆する場合は、A4判用紙で15枚程度とすること。

検 定 料 (30,000 円)	以下のいずれかの方法により本学指定銀行に振り込むこと。 なお、日本政府〔文部科学省〕国費外国人留学生は検定料が不要なので振り込まないこと。出願時に国費外国人留学生証明書を提出すること。 ①〔銀行窓口での振込〕 本学所定振込用紙を用い、銀行窓口で振込手続を行うこと。 ②〔コンビニエンスストアでの振込〕 巻末の説明を参照の上、振込手続を行うこと。 ※①の場合は「振込金受付証明書」を、②の場合は「収納証明書」を入学志願票裏面の指定位置に貼付すること。 ※代理人が振込を行う場合は、必ず<u>志願者の氏名</u>で振り込むこと。
あ て 名 票	本学所定の用紙(シール 3 枚)に、合格通知書等本学からの通知を確実に受け取れる郵便番号・住所(日本国内に限る)・氏名を記入すること。 ※海外在住者は、日本在住の代理人の住所・氏名を記入の上、志願者本人の氏名も併記すること。
チェックシート	本学所定のチェックシートに記入すること。
受験票送付用封筒	(郵送による志願者のみ提出すること) 長形 3 号(定型最大 12cm×23.5cm)封筒に、本学からの通知を確実に受け取れる郵便番号・住所(日本国内に限る)・氏名を記入し、392 円分の切手を貼付すること。(本学から、簡易書留郵便で郵送する。) ※海外在住者は、日本在住の代理人の住所・氏名を記入の上、志願者本人の氏名も併記すること。

*中華人民共和国駐日本国大使館及び総領事館では、コピーと原文一致の公証を発行していない。中国国内で発行された卒業証書及び成績表等の公証手続きは、各地方の司法局に認定された公証処等において行われる。

3. 学士の学位を授与された者または授与される見込みの者が志願する場合の必要書類について

(1. 出願資格(2)に該当する者のみ)

出願時に、以下の書類が特に必要になるので、準備すること。

	必 要 書 類
学士の学位を授与された者	学位記の写し又は学位授与証明書
学士の学位を授与される見込みの者 (注 1)	短期大学または高等専門学校専攻科等の修了見込証明書(在籍する短期大学長または高等専門学校長発行のもの) 学士の学位の授与を、大学改革支援・学位授与機構(旧大学評価・学位授与機構を含む)に申請予定である旨の証明書

(注 1) 学士の学位を授与される見込みの者で、本研究科入学者選抜試験に合格した者が学位授与の申請を行わなかった場合、その他学士の学位を得られないこととなった場合は、その旨を本学に対し、該当者が在籍する短期大学長又は高等専門学校長から速やかに連絡及び通知すること。

(連絡先) 東京外国語大学学務部入試課入学試験係

〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1 TEL 042-330-5179(直通)

〔受付時間〕 月～金曜日(祝日を除く)10 時～12 時及び 13 時～17 時

土曜日、日曜日、祝日及び 12 月 29 日～1 月 3 日は休業

4. 外国人受験者(外国人留学生)について

外国人受験者とは、留学の目的をもって入国した外国人をいい、出題・解答方法は、日本人受験者と同様とする。

なお、その他の外国人は日本人受験者と同様に扱う。

5. 社会人の授業及び研究指導について

本課程では、研究・教育水準の確保を図りつつ、社会人の大学院教育を積極的に進めるために、大学院設置基準第 14 条の特例を適用して、有職者(入学予定時において、2 年以上職を有する者)の便宜を図

る次の方法もある。

- (1) 第1年次は、通常の形態による授業及び研究指導を受け、第2年次は職場に勤務しながら、研究指導を受けることができる。
- (2) 特例の適用を受けようとする者は、原則として、課程修了に必要な30単位のうち、第2年次で履修する専門特殊研究の4単位を除いた26単位を、第1年次の通常の授業時間帯における履修によって修得するものとする。
- (3) 第2年次は、この特例により特定の時間または時期において研究指導を受けることができるものとする。
- (4) 本特例の適用を希望する者は、「社会人の授業及び研究指導の特例申請書(大学院設置基準第14条の特例適用希望申請書)」(本学所定用紙)を出願時に提出すること(入手方法は入試課に問い合わせること)。

6. 障害等のある入学志願者等の事前相談

学校教育法施行令第22条の3に定める障害等のある志願者又は発達障害のある志願者で、その障害等の程度に応じ、受験上及び修学上の特別な配慮を必要とする者は、事前に本学入試課に相談すること。

なお、相談の受付期日後に受験上及び修学上の特別な配慮が必要となった者は、電話等で相談すること(裏表紙「問い合わせ先」参照)。

- (1) 受付期日 2017年(平成29年)12月1日(金)まで
- (2) 相談方法 下記の必要事項を記入し(様式は任意)、添付書類とともに、書留により郵送または窓口へ持参すること。必要な場合は、本学において志願者または関係者等と面談を行う。

- [記入事項]
- ①志願者氏名、年齢、性別
 - ②連絡先(住所、電話番号)
 - ③出身大学、卒業(見込み)年月
 - ④志願専攻名、コース名、受験科目
 - ⑤障害等の種類、程度
 - ⑥受験上希望する措置
 - ⑦修学上希望する措置
 - ⑧添付書類
 - ・医師の診断書
 - ・身体障害者手帳(写)

7. 個人情報の利用について

出願にあたり提供された氏名、住所、電話番号及び入学者選抜の成績等の個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人東京外国語大学個人情報保護規程」に基づいて、次のとおり取り扱う。

- ・出願者の情報は、入学者選抜、合格者発表及び入学手続業務に利用する。
- ・入学者の情報は、教務関係(学籍簿の作成等)、学生支援関係、授業料徴収に関する業務に利用する。

8. 入学者選抜方法

【冬季募集・一般】

- (1) 出願期間
2018年(平成30年)1月4日(木)～1月9日(火)
- (2) 選抜期日

【世界言語社会専攻】	《筆答試験》	2018年(平成30年)2月3日(土)
	《口述試験》	2018年(平成30年)2月3日(土)・4日(日)
【国際日本専攻】	第1次選考《書類審査》	筆答試験を行わず、書類審査を行う。
	第2次選考《口述試験》	2018年(平成30年)2月3日(土)・4日(日)
- (3) 合格者発表

【世界言語社会専攻】	《最終合格者発表》	2018年(平成30年)2月16日(金) 午前10時00分 本学掲示板
【国際日本専攻】	《第1次選考合格者発表》	2018年(平成30年)1月19日(金)

合格者には、合格通知書を「あて名票」により郵送する。

また、掲示とともに、ホームページにおいて合格者の受験番号を掲載する(詳細は受験票郵送の際に通知する)。ただし、ホームページ上の発表は参考としての閲覧のため、必ず、掲示または合格通知書により確認すること。

なお、合否結果に関する問い合わせには、一切応じない。

(4) 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査(筆答試験・口述試験)及び成績証明書等を総合して行う。筆答試験において、研究計画書に則した適切な問題を選んだか否かも判断材料となる。

(4-1) 筆答試験

世界言語社会専攻

コース	試験科目	試験時間
言語文化コース	以下の言語のうち、1つを選んで解答する。	10:00 ～11:00 (60 分)
	英語、英語(英語教育学) ^{※1} 、英語(日英通訳・翻訳実践) ^{※2} 、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、中国語、朝鮮語、アラビア語、日本語 ^{※3}	
	^{※1} 研究テーマが「英語教育学」に関連する志願者は出願時に、「英語(英語教育学)」を選択すること。 ^{※2} 研究テーマが「日英通訳・翻訳実践」に関連する志願者は出願時に、「英語(日英通訳・翻訳実践)」を選択すること。 ^{※3} 「日本語」は、日本語以外で中等教育を受けた者に限って受験できる。	
国際社会コース	以下の言語のうち、1つを選んで解答する。	10:00 ～11:00 (60 分)
	英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、中国語、朝鮮語、アラビア語、日本語 ^{※1}	
	^{※1} 「日本語」は、日本語以外で中等教育を受けた者に限って受験できる。	

国際日本専攻

コース	試験科目	試験時間
国際日本コース	筆答試験は実施しない(書類審査のみ)。	---

(4-2) 口述試験(国際日本専攻では「第2次選考(口述試験)」)

筆答試験を受験した者及び国際日本専攻第1次選考合格者に対し、口述試験を行う。試験時刻等の詳細は、筆答試験当日に指示する。筆答試験を受験しなかった者は受験を放棄したものと見なす。

9. 入学手続き等

(1) 入学手続期間 2018 年(平成 30 年) 3 月 26 日(月)・27 日(火)

この期間内に入学手続きを完了しない場合は、入学辞退者として取り扱う。

(2) 入学料の納付額 282,000 円

日本政府〔文部科学省〕国費外国人留学生は入学料の納付が不要なので振り込まないこと。

(3) その他

・入学手続きに必要な提出書類及び提出方法については、合格者にあらためて通知する。

- ・授業料は、前半期分 267,900 円を 4 月中に、後半期分 267,900 円を 10 月中に徴収する。
- ・入学時または在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料を適用する。
- ・入学時には、上記授業料のほか、学生教育研究災害傷害保険料等の諸経費が必要となる。
- ・官公庁・会社・学校等に在職のまま入学する者は、所属長の発行する入学承諾書(様式任意)を入学手続き時に提出すること。

10. 注意事項

- (1) 複数の専攻・コースを併願することはできない。
- (2) 出願手続完了後は、いかなる事情があっても専攻コース・受験科目の変更は認めない。また、検定料の払い戻し、提出書類の返却は行わない。
- (3) 提出書類に偽りの記載または隠した事実があったときは、入学後といえども入学を取り消すことがある。
- (4) 入学手続を完了した者が入学を辞退する場合は、2018 年(平成 30 年)3 月 30 日(金)までに、入学辞退届(本学所定様式)を本学入試課に提出しなければならない。入学辞退届を提出しない場合には、4 月以降学籍が作成され、授業料納付の義務が発生するなどの問題が生じるので早めに届け出ること。

冬季募集 (Peace and Conflict Studies コース)

本コースの募集に関する詳細は、本学ホームページ上で確認すること。

URL: http://www.tufs.ac.jp/english/admission/pg/master/m_pcs.html

1. 募集人員 12 名
2. 出願資格 詳細は、本学ホームページ(URL は上記のとおり)を参照。
3. 入学時期 2018 年(平成 30 年)10 月
4. 出願手続
 - (1) 出願期間 2018 年(平成 30 年)1 月 4 日(木)～2018 年(平成 30 年)5 月 11 日(金)
 - (2) 出願方法 すべて郵送に限る。
 - (3) 提出先 〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1 東京外国語大学入試課
5. 選考方法及び選考結果
 - (1) 選考は、書類審査及び面接の内容を総合して行う。
面接日は、出願後、日程調整の上個別に設定し実施する。
 - (2) 合格者発表 2018 年(平成 30 年)6 月下旬
選考結果は、ホームページに掲載する(志願者全員に、電子メールでホームページへのアクセスキーを通知する)。
6. 入学手続き等
入学手続日程については、学生の渡日日程に配慮し、弾力的に設定する。

冬季募集・社会人特別入試

1. 出願資格【冬季募集・社会人特別入試】

次のいずれかに該当し、出願時において3年以上の社会人としての経験を有し、かつ、2018年(平成30年)3月31日において27歳に達する者

- (1) 大学を卒業した者(注1)
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者(注2)
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(注3)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(注4)により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者(注5)
- (9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者(注6)

(注1) 出願資格の(1)に定める「大学」とは、学校教育法に基づく日本の大学のことである。外国の大学の出身者については、出願資格の(3)若しくは(6)に基づき、出願資格を判断することになる。

(注2) 短期大学又は高等専門学校の専攻科の修了者等で、大学改革支援・学位授与機構(旧大学評価・学位授与機構を含む)から学士の学位を授与された者。

(注3) その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。

(注4) 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。

(注5) 出願資格の(8)において「文部科学大臣の指定した者」に該当する者は、次に掲げる者等である。

(ア) 旧大学令等による大学等を卒業(修了)した者及び各省庁組織令・設置法による大学校等を卒業した者

(イ) 教育職員免許法による小学校、中学校、高等学校若しくは幼稚園の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は1種免許状を有する者で、22歳に達したもの

(ロ) 旧国立養護教諭養成所を卒業した者で、教育職員免許法による中学校教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は1種免許状を有するもの

(エ) 旧国立工業教員養成所を卒業した者で、教育職員免許法による高等学校教諭免許状及び3年以上教員として良好な成績で勤務した旨の実務証明責任者の証明を有するもの

(注6) 出願資格の(9)において、個別の入学資格審査の対象となる者は、上記(1)～(8)に該当しない者のうち主として「短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者など大学卒業資格を有していない者」であり、かつ大学を卒業した者と同等以上の学力を認める根拠となる学歴取得後、出願時において3年以上の社会人としての経験を有しているものに限る。これにより出願する場合は、事前に入学資格審査が必要となるので、2017年(平成29年)12月1日(金)までに次の書類を入試課窓口まで持参するか、書留郵便で郵送すること。

(ア) 入学資格認定申請書(本学所定の用紙)

- (イ) 入学試験出願資格認定審査調書(本学所定の用紙)
 (ウ) 最終学歴の卒業証明書及び成績証明書(学校長(学部長)名で発行され、厳封されたもの)
 (エ) その他、本学大学院において必要と認める書類
 入学資格審査結果については2017年(平成29年)12月15日(金)までに本人宛に郵送により通知する。

2. 出願手続

志願者は、出願書類等をすべて取りまとめのうえ、出願期間内に(2)の提出先に提出すること。出願書類等を受理された者に対して受験票を交付する。**※後日提出は、一切認めない(出願不受理となる)。**

海外在住者は、日本在住の代理人が必要となる(本学からの連絡は、日本在住の代理人に行う)。

なお、受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返却しない。

冬季募集・社会人特別入試	
(1) 出願期間	2018年(平成30年)1月4日(木)～1月9日(火)
窓口で出願する場合	土日祝日を除く、各日とも 10時～12時及び13時～16時
郵送による出願の場合	必ず書留郵便(封筒表面に「大学院博士前期課程(□□専攻△△コース)願書在中」と朱書きすること)とし、出願期間最終日までに必着のこと。ただし、出願期間後に本学に到着した場合でも、2018年(平成30年)1月4日(木)以前の日本内発信局消印のある書留郵便に限り受け付けるものとする。
(2) 提出先	〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1 東京外国語大学入試課入学試験係
(3) 出願書類等	
入学志願票	本学所定の用紙に必要事項を記入し、写真(縦4cm×横3cm・上半身・正面・無帽・出願日前3ヶ月以内に撮影したもの)を貼付すること。 志願者は、志望する専攻・コースを一つ選択して出願すること。複数の専攻・コースを併願することはできない。 ※既に記入し終えたものを提出すること。窓口での記入は認めない。 ※海外在住者は、「連絡先」の欄に日本在住の代理人の連絡先・氏名を記入すること。
受験票・写真票	本学所定の用紙に必要事項を記入し、写真(志願票と同じもの)を貼付すること。
成績証明書	出身大学より大学長(学部長)名で発行された原本で、出身大学において厳封されたものを提出すること。なお、大学(学部)1年次から卒業までの成績が把握できるものを提出すること。ただし、「証明書が一通しか発行されない」等の理由でオリジナル(原本)を提出できない場合は、*大使館等公的機関で原本証明されたものを提出すること。 英語・中国語以外の言語で作成された証明書は、自国の公的機関で証明した日本語訳又は英語訳を添付すること。※訳文の証明は、本学では行っていない。 また、本学入試課においても原本証明を行うことができる。<u>本学に原本証明を依頼する前に必ず、出身大学へ証明書の発行が可能か問い合わせること。追加の発行ができない場合のみ、本学入試課での原本証明を受け付ける。</u> 【入試課において原本証明を行う場合について】 <u>事前に入試課に連絡の上、オリジナル(原本。コピー及び、学校印等がプリントされたもので、本学において原本であることの判断がつかないものは不可)</u>を本学入試課へ持参もしくは郵送し、厳封を受けた書類を出願時に提出すること。なお、郵送で手続きを行う場合は、書類が入る大きさの返信用封筒を用意し、その書類の重さに応じた簡易書留相当分の切手を貼り、必ずあて先(日本国内に限る)を記入し同封すること。 受付期間：2017年11月20日(月)～2018年1月9日(火) 16時まで ※本学冬季休業期間(2017年12月29日(金)～2018年1月3日(水))を除く 受付時間：月～金曜日(祝日を除く)10時～12時及び13時～16時

卒業証明書	出身大学より大学長(学部長)名で発行された原本(コピーやオンラインでの証明書を印刷したものなどは不可)を提出すること。なお、当書類は志願票「出願資格」の確認に使用するので、当項目と合致する大学(学部)のものを提出すること。ただし、「証明書が一通しか発行されない」等の理由でオリジナル(原本)を提出できない場合は、*大使館等公的機関で原本証明されたものを提出すること。また、<u>取得した学位の記載が無い場合は、学位取得に関する証明書も併せて提出すること。</u> 英語・中国語以外の言語で作成された証明書は、自国の公的機関で証明した日本語訳又は英語訳を添付すること。<u>※訳文の証明は、本学では行っていない。</u> また、本学入試課においても原本証明を行うことができる。<u>本学に原本証明を依頼する前に必ず、出身大学へ証明書の発行が可能か問い合わせること。追加の発行ができない場合にのみ、本学入試課での原本証明を受け付ける。</u> 【入試課において原本証明を行う場合について】 上記「成績証明書」における取扱いと同様とする。 中国の大学を卒業した者は、上記の卒業証明書のほかに「教育部学歴認証中心」が発行する、英文の「学歴認定報告書 Verification Report of China Higher Education Qualification Certificate」(Web 画面(PDF)の印刷ではなく、機関が発行・郵送する原本。コピー不可)も併せて提出すること(入試課での原本証明は行っていない)。 「学歴認定報告書」の申請・問合せ先は次のとおり。 教育部学歴認証中心(中国) http://www.chsi.com.cn/ 学歴認定中心日本代理機構(日本) http://www.chsi.jp/
志望動機理由書	提出部数：4 部(コピー可) 体 裁：志望専攻・コース名・研究テーマ及び氏名を記入した表紙を付けること。 A4 判用紙を使用し、日本語で 1,000 字程度にまとめること。 内 容：研究テーマを簡潔に明示した上で、志望動機、研究の対象、方法、準備・進捗状況、社会人経験との関連、博士前期課程での研究展開の見通しなどについて、具体的に述べること。その際、先行研究・基本文献についても言及すること。なお、<u>文中に英語以外の言語で書かれた文言を引用する場合は、和訳を付すこと。</u>
小論文	提出部数：4 部(コピー可) - 卒業論文、又はそれに準ずる参考論文*。ただし、卒業論文と本学大学院での研究テーマが関連しない志願者は、新たに参考論文を執筆して提出すること。 - 志望専攻・コース名・論文タイトル及び氏名を記入した表紙を付けること。 - 日本語及び英語以外の外国語で論文を執筆した者は、A4 判用紙を用いて日本語に翻訳したものを添付すること。 - 提出後の差し替えは認めないので、よく確認の上、提出すること。 *「それに準ずる参考論文」について 日本語で執筆する場合は、A4 判用紙に 4,000 字(400 字詰め原稿用紙 10 枚)程度(若干の増を認める)で作成すること。また、外国語で執筆する場合は、A4 判用紙で 5 枚程度とすること。 なお、研究テーマに関連する著作物等の成果物をもって卒業論文又は参考論文の提出に代えることができる(様式・文字数・体裁は任意とする)。
教育調査票	※国際日本専攻国際日本コース志願者のみ任意提出(本学所定の用紙)
日本語教育能力検定試験の合格証明書等	※国際日本専攻国際日本コース志願者のみ任意提出

検 定 料 (30, 000 円)	以下のいずれかの方法により本学指定銀行に振り込むこと。 なお、日本政府〔文部科学省〕国費外国人留学生は検定料が不要なので振り込まないこと。出願時に国費外国人留学生証明書を提出すること。 ①〔銀行窓口での振込〕 本学所定振込用紙を用い、銀行窓口で振込手続を行うこと。 ②〔コンビニエンスストアでの振込〕 巻末の説明を参照の上、振込手続を行うこと。 ※①の場合は「振込金受付証明書」を、②の場合は「収納証明書」を入学志願票裏面の指定位置に貼付すること。 ※代理人が振込を行う場合は、必ず志願者の氏名で振り込むこと。
あて名票	本学所定の用紙(シール 3 枚)に、合格通知書等本学からの通知を確実に受け取れる郵便番号・住所(日本国内に限る)・氏名を記入すること。 ※海外在住者は、日本在住の代理人の住所・氏名を記入の上、志願者本人の氏名も併記すること。
チェックシート	本学所定のチェックシートに記入すること。
受験票送付用封筒	(郵送による志願者のみ提出すること) 長形 3 号(定型最大 12cm×23.5cm)封筒に、本学からの通知を確実に受け取れる郵便番号・住所(日本国内に限る)・氏名を記入し、392 円分の切手を貼付すること。(本学から、簡易書留郵便で郵送する。) ※海外在住者は、日本在住の代理人の住所・氏名を記入の上、志願者本人の氏名も併記すること。

*中華人民共和国駐日本国大使館及び総領事館では、コピーと原文一致の公証を発行していない。中国国内で発行された卒業証書及び成績表等の公証手続きは、各地方の司法局に認定された公証処等において行われる。

3. 学士の学位を授与された者が志願する場合の必要書類について

(1. 出願資格(2)に該当する者のみ)

出願時に、以下の書類が特に必要になるので、準備すること。

	必 要 書 類
学士の学位を授与された者	学位記の写し又は学位授与証明書

4. 外国人受験者(外国人留学生)について

外国人受験者とは、留学の目的をもって入国した外国人をいい、出題・解答方法は、日本人受験者と同様とする。

なお、その他の外国人は日本人受験者と同様に扱う。

5. 社会人の授業及び研究指導について

本課程では、研究・教育水準の確保を図りつつ、社会人の大学院教育を積極的に進めるために、大学院設置基準第 14 条の特例を適用して、有職者(入学予定時において、2 年以上職を有する者)の便宜を図る次の方法もある。

- (1) 第 1 年次は、通常の形態による授業及び研究指導を受け、第 2 年次は職場に勤務しながら、研究指導を受けることができる。
- (2) 特例の適用を受けようとする者は、原則として、課程修了に必要な 30 単位のうち、第 2 年次で履修する専門特殊研究の 4 単位を除いた 26 単位を、第 1 年次の通常の授業時間帯における履修によって修得するものとする。
- (3) 第 2 年次は、この特例により特定の時間または時期において研究指導を受けることができるものとする。
- (4) 本特例の適用を希望する者は、「社会人の授業及び研究指導の特例申請書(大学院設置基準第 14 条の特例適用希望申請書)」(本学所定用紙)を出願時に提出すること(入手方法は入試課に問い合わせること)。

6. 障害等のある入学志願者等の事前相談

学校教育法施行令第22条の3に定める障害等のある志願者又は発達障害のある志願者で、その障害等の程度に応じ、受験上及び修学上の特別な配慮を必要とする者は、事前に本学入試課に相談すること。

なお、相談の受付期日後に受験上及び修学上の特別な配慮が必要となった者は、電話等で相談すること。(裏表紙「問い合わせ先」参照)

(1) 受付期日 2017年(平成29年)12月1日(金)まで

(2) 相談方法 下記の必要事項を記入し(様式は任意)、添付書類とともに、書留により郵送または窓口へ持参すること。必要な場合は、本学において志願者または関係者等と面談を行う。

- [記入事項]
- ①志願者氏名、年齢、性別
 - ②連絡先(住所、電話番号)
 - ③出身大学、卒業(見込み)年月
 - ④志願専攻名、コース名、受験科目
 - ⑤障害等の種類、程度
 - ⑥受験上希望する措置
 - ⑦修学上希望する措置
 - ⑧添付書類
 - ・医師の診断書
 - ・身体障害者手帳(写)

7. 個人情報の利用について

出願にあたり提供された氏名、住所、電話番号及び入学者選抜の成績等の個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人東京外国語大学個人情報保護規程」に基づいて、次のとおり取り扱う。

- ・出願者の情報は、入学者選抜、合格者発表及び入学手続業務に利用する。
- ・入学者の情報は、教務関係(学籍簿の作成等)、学生支援関係、授業料徴収に関する業務に利用する。

8. 入学者選抜方法

【冬季募集・社会人特別入試】

(1) 出願期間

2018年(平成30年)1月4日(木)～1月9日(火)

(2) 選抜期日

【世界言語社会専攻】	《筆答試験》	2018年(平成30年)2月3日(土)
	《口述試験》	2018年(平成30年)2月3日(土)・4日(日)
【国際日本専攻】	第1次選考《書類審査》	筆答試験を行わず、書類審査を行う。
	第2次選考《口述試験》	2018年(平成30年)2月3日(土)・4日(日)

(3) 合格者発表

【世界言語社会専攻】	《最終合格者発表》	2018年(平成30年)2月16日(金) 午前10時00分 本学掲示板
	《第1次選考合格者発表》	2018年(平成30年)1月19日(金) 午前10時00分 本学掲示板
	《最終合格者発表》	2018年(平成30年)2月16日(金) 午前10時00分 本学掲示板

合格者には、合格通知書を「あて名票」により郵送する。

また、掲示とともに、ホームページにおいて合格者の受験番号を掲載する(詳細は受験票郵送の際に通知する)。ただし、ホームページ上の発表は参考としての閲覧のため、必ず、掲示または合格通知書により確認すること。

なお、合否結果に関する問い合わせには、一切応じない。

(4) 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査(筆答試験・口述試験)及び成績証明書等を総合して行う。筆答試験において、研究計画書に則した適切な問題を選んだか否かも判断材料となる。

(4-1) 筆答試験

世界言語社会専攻

コース	試験科目		試験時間
言語文化コース	言語科目	以下の言語のうち、1つを選んで解答する。	10:00 ～11:00 (60分)
		英語、英語(英語教育学) ^{※1} 、英語(日英通訳・翻訳実践) ^{※2} 、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、中国語、朝鮮語、アラビア語、日本語 ^{※3}	
		※1 研究テーマが「英語教育学」に関連する志願者は出願時に、「英語(英語教育学)」を選択すること。 ※2 研究テーマが「日英通訳・翻訳実践」に関連する志願者は出願時に、「英語(日英通訳・翻訳実践)」を選択すること。 ※3「日本語」は、日本語以外で中等教育を受けた者に限って受験できる。	
国際社会コース	言語科目	以下の言語のうち、1つを選んで解答する。	10:00 ～11:00 (60分)
		英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、中国語、朝鮮語、アラビア語、日本語 ^{※1}	
		※1「日本語」は、日本語以外で中等教育を受けた者に限って受験できる。	

国際日本専攻

コース	試験科目	試験時間
国際日本コース	筆答試験は実施しない(書類審査のみ)。	---

(4-2) 口述試験(国際日本専攻では「第2次選考(口述試験)」)

筆答試験を受験した者及び国際日本専攻第1次選考合格者に対し、口述試験を行う。試験時刻等の詳細は、筆答試験当日に指示する。筆答試験を受験しなかった者は受験を放棄したものと見なす。

9. 入学手続き等

- (1) 入学手続期間 2018年(平成30年)3月26日(月)・27日(火)

この期間内に入学手続きを完了しない場合は、入学辞退者として取り扱う。

- (2) 入学料の納付額 282,000円

日本政府〔文部科学省〕国費外国人留学生は入学料の納付が不要なので振り込まないこと。

- (3) その他

- ・入学手続きに必要な提出書類及び提出方法については、合格者にあらためて通知する。
- ・授業料は、前半期分267,900円を4月中に、後半期分267,900円を10月中に徴収する。
- ・入学時または在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料を適用する。
- ・入学時には、上記授業料のほか、学生教育研究災害傷害保険料等の諸経費が必要となる。
- ・官公庁・会社・学校等に在職のまま入学する者は、所属長の発行する入学承諾書(様式任意)を入学手続き時に提出すること。

10. 注意事項

- (1) 複数の専攻・コースを併願することはできない。
- (2) 出願手続完了後は、いかなる事情があっても専攻コース・受験科目の変更は認めない。また、検定料の払い戻し、提出書類の返却は行わない。
- (3) 提出書類に偽りの記載または隠した事実があったときは、入学後といえども入学を取り消すことがある。
- (4) 入学手続を完了した者が入学を辞退する場合は、2018年(平成30年)3月30日(金)までに、入

学辞退届(本学所定様式)を本学入試課に提出しなければならない。入学辞退届を提出しない場合には、4月以降学籍が作成され、授業料納付の義務が発生するなどの問題が生じるので早めに届け出ること。

本学大学院学生の教職科目の履修について

1. 大学院学生の教職履修

大学院学生が教育職員免許状(一種)を取得するための単位を修得するには、学部の科目等履修生になることが必要です。

本学大学院学生に限り、教員免許状取得を目的として本学学部の科目等履修生になる場合は、科目等履修に必要な検定料・入学料・授業料は免除されます。大学院を休学している者にはこの授業料免除制度は適用されませんので注意してください。

教員免許状取得に必要な単位数が多い場合には、大学院の研究に支障をきたすおそれもあるので、大学院指導教員の了解を得たうえで計画的な履修をするようにしてください。なお、履修を希望する授業科目に正規学生の受講者がいない場合は、その授業科目は開講されません。

2. 本学で取得可能な免許状

本学では言語文化学部で中学校・高等学校の「外国語」(下表を参照のこと)、国際社会学部で中学校「社会科」、高等学校「地理歴史科」の一種免許状取得に必要な授業が開講されています。取得を希望する免許状に応じて、どちらかの学部の科目等履修生になることになります。

〔外国語の教員免許状の種類〕

英 語	ドイツ語	フランス語	イタリア語	スペイン語	ポルトガル語	ロシア語
中 国 語	モンゴル語	インドネシア語	ラオス語	ビルマ語	ペルシア語	

3. 科目等履修生の出願手続

大学院学生の場合の科目等履修出願の期間は4月初旬です。入学後すぐのため、忘れずに期間内に手続きをするように気をつけてください。大学院生用の科目等履修生の募集要項(教員免許状取得目的用)は2018年(平成30年)2月中旬から入試課及び教務課の窓口で配布予定です。

手続きは大学院入試合格発表後に、入学が決まってから行って下さい。

2018年度 東京外国語大学 入学検定料支払方法のご案内

下記のコンビニ端末にてお支払いください

㊦ セブン-イレブン マルチコピー機

<http://www.sej.co.jp>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。

TOP画面の「学び・教育」よりお申込みください。



LAWSON
Loppi

MINISTOP
Loppi

<http://www.lawson.co.jp>

<http://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。

TOP画面の「各種サービスメニュー」よりお申込みください。



あなたと、コンビニに、
FamilyMart Famiポート

<http://www.family.co.jp>

最寄りの「ファミリーマート」にある「Famiポート」へ。

TOP画面の「申込・請求(学び・教育)」よりお申込みください。



ケイステーション
Kstation

<http://www.circleksunkus.jp>

最寄りの「サークルK・サンクス」にある「Kステーション」へ。

TOP画面の「学び・申込」よりお申込みください。



お申込みの大学

をタッチし、申込情報を入力して「払込票/申込券/受付票」を発券ください。

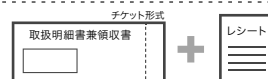
*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

① コンビニのレジでお支払いください。

端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi、Famiポート)または「受付票」(Kステーション)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**

② お支払い後、チケットとレシートの2種類をお受け取りください。

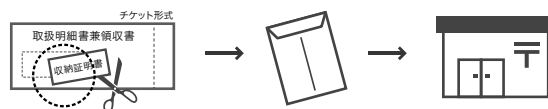
「取扱明細書」(マルチコピー機、Kステーション)または「取扱明細書兼領収書」(Loppi、Famiポート)。



*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

払込手数料	入学検定料が5万円未満	432円
	入学検定料が5万円以上	648円

「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の
「収納証明書」部分を切り取り、
入試要項などの指示に従って郵送してください。



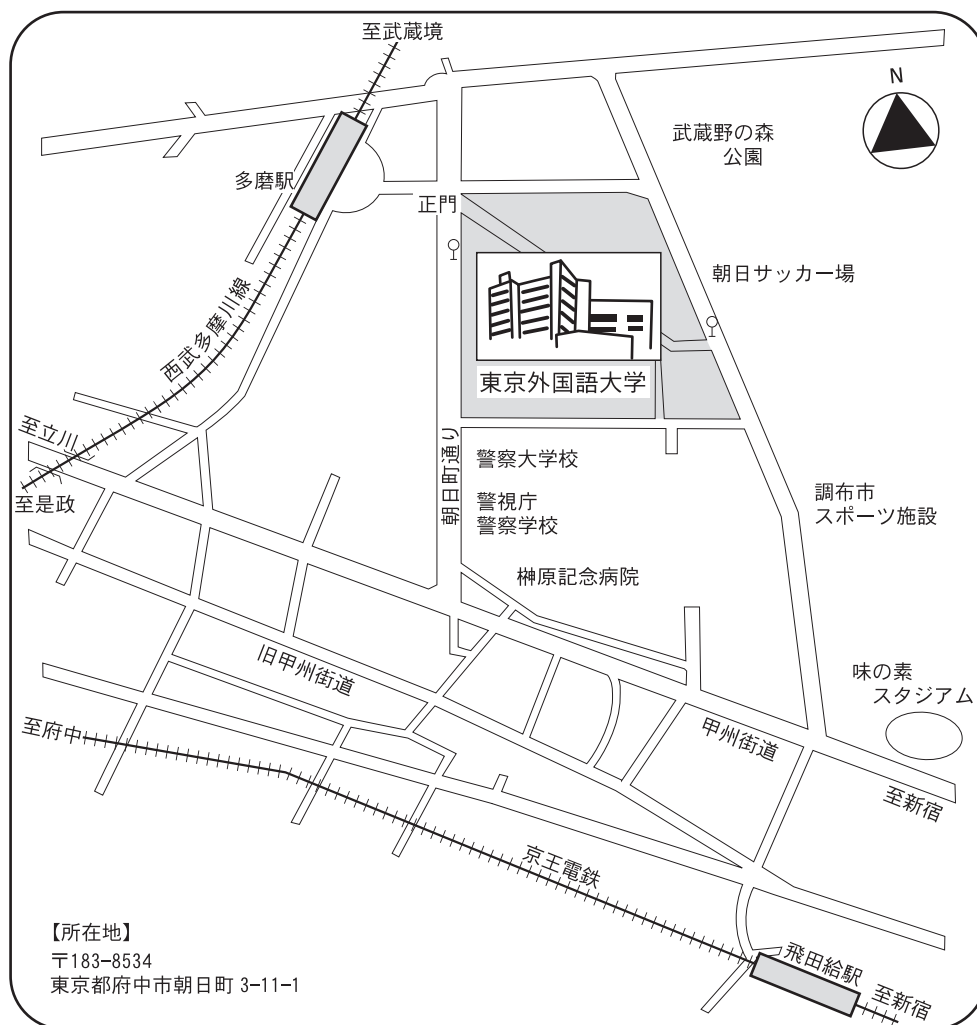
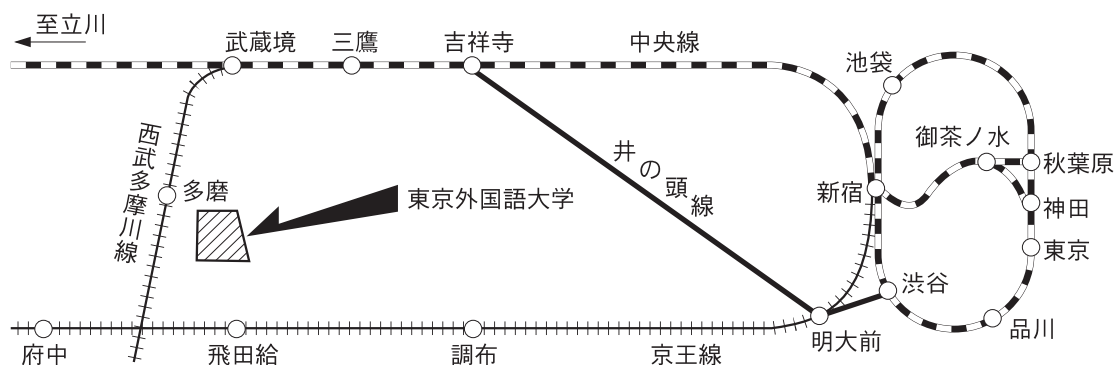
貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある欄は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

●言語文化学部		●大学院	
推薦入試	2017.10.1 ~ 2018. 1.17 16:00まで	博士前期課程・秋季募集	2017. 8. 1 ~ 2017. 9.26 16:00まで
帰国子女特別入試	2017. 8. 1 ~ 2017.11.24 16:00まで	博士前期課程・特別選抜(推薦入試)	2017. 7.10 ~ 2017. 8. 4 16:00まで
私費外国人留学生入試	2017. 8. 1 ~ 2017.11.24 16:00まで	博士後期課程	2017. 8. 1 ~ 2017.11.24 16:00まで
外国人留学生入試(募集言語:日本語)	2017. 8. 1 ~ 2017.11. 9 16:00まで	博士前期課程・冬季募集	2017.11. 1 ~ 2018. 1. 9 16:00まで
第3年次編入学	2017. 8. 1 ~ 2017. 8.31 16:00まで		
●国際社会学部		●研究生・科目等履修生	
帰国生等特別推薦入試	2017. 8. 1 ~ 2017.11. 7 16:00まで	学部 科目等履修生(10月入学)	2017. 8. 1 ~ 2017. 8.18 16:00まで
帰国子女特別入試	2017. 8. 1 ~ 2017.11.24 16:00まで	学部 科目等履修生(4月入学)	2018. 1. 1 ~ 2018. 2. 2 16:00まで
私費外国人留学生入試	2017. 8. 1 ~ 2017.11.24 16:00まで	学部 研究生(10月入学)	2017. 8. 1 ~ 2017. 8.18 16:00まで
外国人留学生入試(募集地域:日本)	2017. 8. 1 ~ 2017.11. 9 16:00まで	学部 研究生(4月入学)	2018. 1. 1 ~ 2018. 2.14 16:00まで
第3年次編入学	2017. 8. 1 ~ 2017. 8.31 16:00まで	大学院 科目等履修生(4月入学)	2018. 1. 1 ~ 2018. 2.20 16:00まで
		大学院 研究生(10月入学)	2017. 8. 1 ~ 2017. 8.18 16:00まで
		大学院 研究生(4月入学)	2018. 1. 1 ~ 2018. 2.20 16:00まで

*出願期間を入試要項でご確認の上、お支払いください。出願期限を過ぎたお支払いは出来ません。

【操作などのお問合わせ先】 学び・教育サポートセンター <http://e-apply.jp/> ※コンビニ店頭ではお応えできません。

案 内 図



●交通機関

- ・西武多摩川線「多磨」駅下車 徒歩 5 分
- ・京王電鉄「飛田給」駅北口より多磨駅行京王バス「東京外国語大学前」下車徒歩 0 分

●問い合わせ先

- ・東京外国語大学学務部入試課入学試験係 TEL 042-330-5179

平成 29 年 11 月

東京外国語大学